

# 事後評価アンケート結果

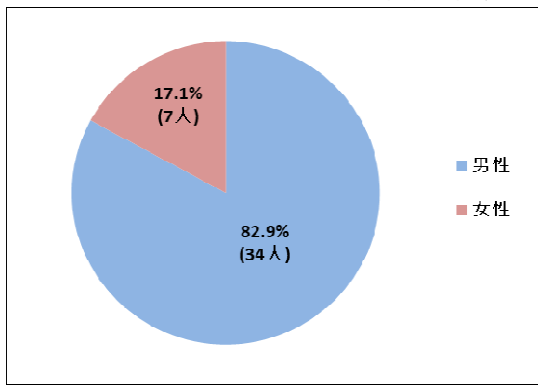
整理番号	R2 - 1
------	--------

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

アンケート対象	三戸町泉山地区・駒木地区の105世帯		
配布方法	三戸町にアンケートの対象世帯への配布を依頼	(配布部数)	105 部
回収方法	回収方法は、返信用封筒を利用し調査対象者から返送	(回収部数)	41 部
回収率	39.0%		
アンケート結果			

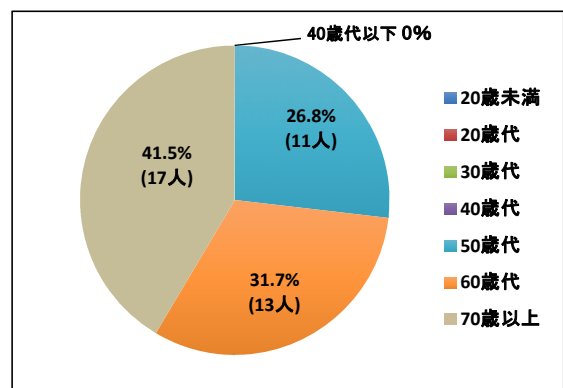
問1【性別】

有効回答数: 41



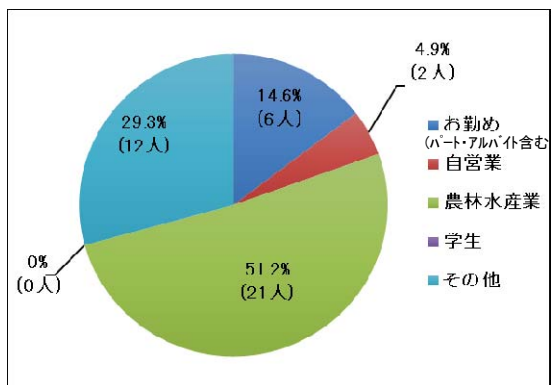
問2【年齢層】

有効回答数: 41



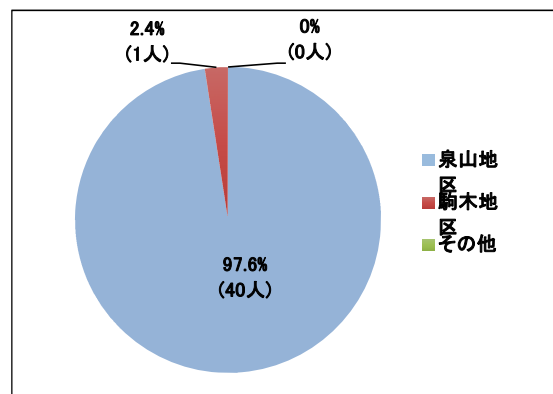
問3【職業】

有効回答数: 41



問4【お住まい】

有効回答数: 41



施工地下流の保全対象の世帯対象

- ・泉山地区 102世帯
- ・駒木地区 3世帯

# 事後評価アンケート結果

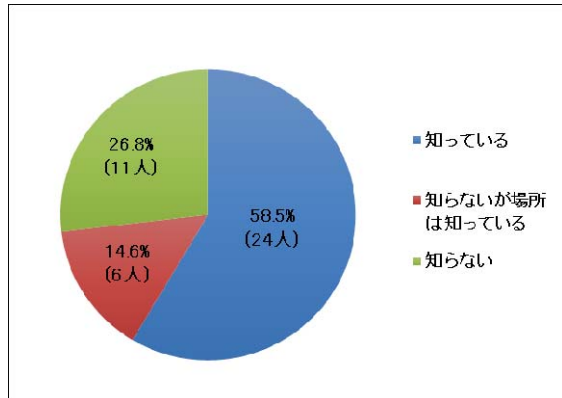
整理番号	R2 - 1
------	--------

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

## アンケート結果

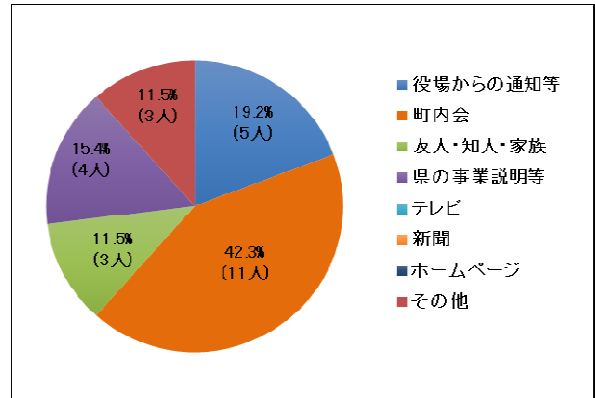
### 問5【認知度1】事業実施

有効回答数:41



### 問6【認知度2】事業実施は何かから

有効回答数:26



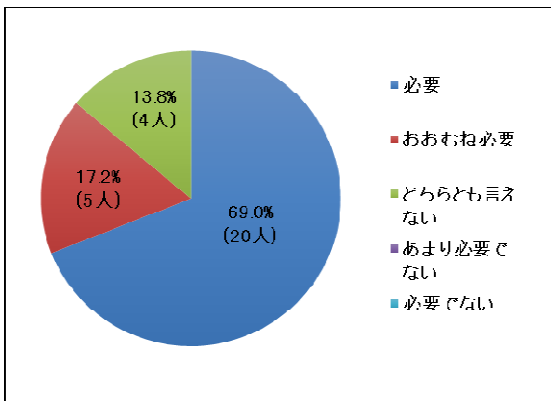
※ 重複回答は可とした。

#### 【その他】

「現場を見た」「その場を通った」

### 問7【必要性】

有効回答数:29

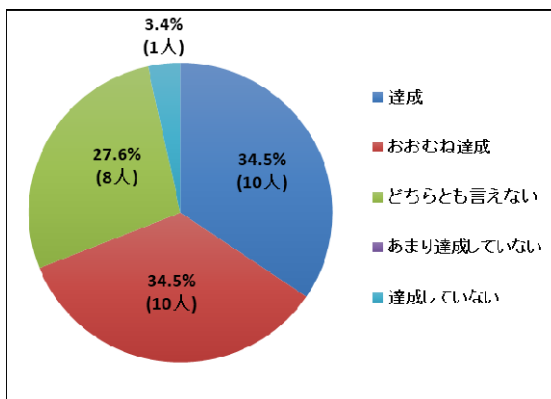


#### 【必要性】に対する意見(原文)

- ① 県道等に土砂が流出したり、農地や人家にも被害を及ぼす恐れがあると思えば、大雨のたびに心配していた。治山ダムが完成したので安心して生活できる。ありがとうございます。
- ② 近年の大雨災害の被害の重大さに対応してくれまして、良い事業をしてもらい感謝します。
- ③ 大雨等で崩れている所を見えています。
- ④ 治山流出防止のため。
- ⑤ 土砂流出の減少。
- ⑥ 洪水の発生があったから。

### 問8【達成度】

有効回答数:29



#### 【達成度】に対する意見(原文)

- ① 災害の大きさによって心配な事もあります。
- ② 車で通った時一度、少し見ただけだから。

# 事後評価アンケート結果

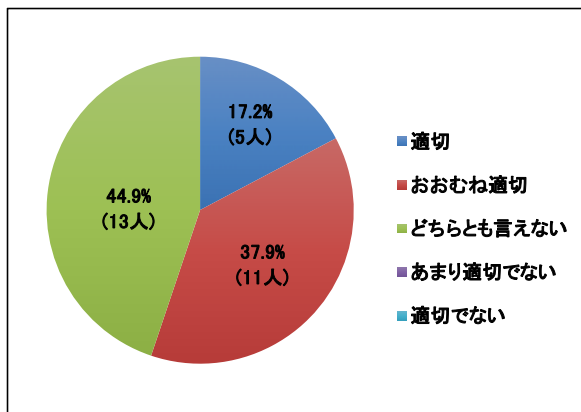
整理番号	R2	-	1
------	----	---	---

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

## アンケート結果

### 問9【管理状況】

有効回答数: 29

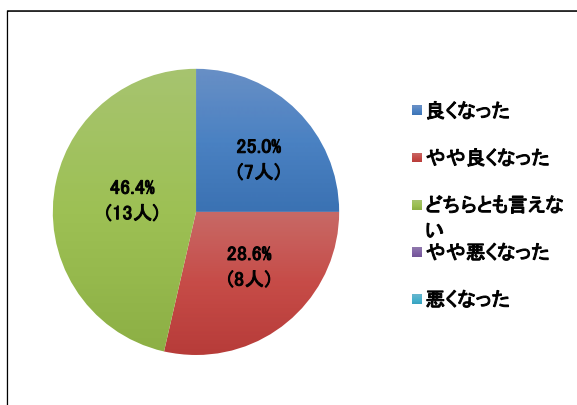


#### 【管理状況】に対する意見(原文)

- ① 管理というがどうゆうことを行っているのか。
- ② どんな管理をしているのか。

### 問10【環境変化】

有効回答数: 28

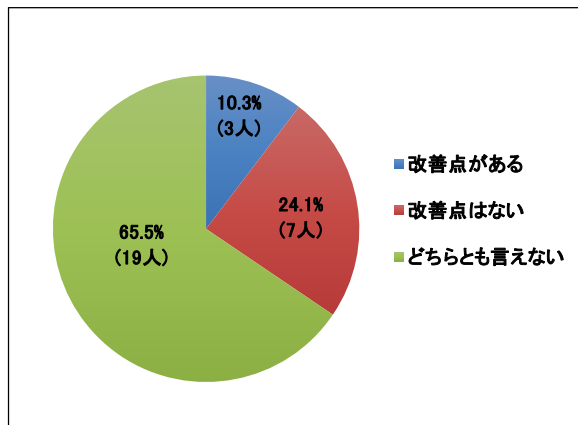


#### 【環境変化】に対する意見(原文)

- ① 大雨でも矢吹沢に流木など少なくなったように思われます。
- ② 安心感がある。

### 問11【改善点】

有効回答数: 29



#### 【改善点】に対する意見(原文)

- ① 矢吹沢本流のダムが土砂でいっぱいだと思います。
- ② ダム下部の放水孔が小さすぎる。早いものでは1年たらずに埋まり、ほとんど4~5年で埋まってしまう。放水孔を大きくし、ダム上流に放水孔を通らない石や木片等を捕まえて止める柵を設置する。コンクリートダムの代わりに鉄骨柵を数個設置した方が良いと思う。

# 事後評価アンケート結果

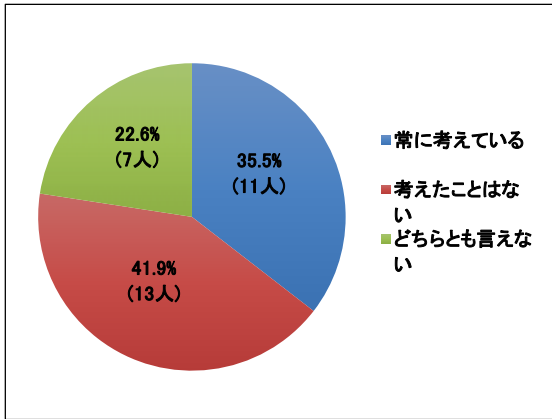
整理番号	R2	-	1
------	----	---	---

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

## アンケート結果

### 問12【防災意識度】

有効回答数: 31



#### 【防災意識】に対する意見(原文)

- ① 三戸町から配布された災害マップ等を見て、避難所を確認しておく事と、避難するときに必要な物を日頃準備しておく様にしています。
- ② 大雨等の場合は矢吹沢や樹海ラインには行かないことにしています。
- ③ 名久井岳には他にも溪流が3~4箇所有り、その下にすんでいるから。
- ④ 家族の安全を考える。

### 問14【その他、治山事業に対する意見】

治山事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

#### 【意見】(原文)

- ① 村の上流中流にも治山事業をしてもらいたい。
- ② 落葉林も考える必要があると思います。
- ③ 森林伐採により、今後も多くの場所で必要になってくるのではないかな。
- ④ 防災マップとセットして分かりやすくしてほしい。
- ⑤ 近年、災害が多いので心配している。また、災害場所を見たが、自然の力にとっても驚き恐怖を感じた。
- ⑥ 自分の身は自分で守る。
- ⑦ まだ危険な場所があります。名久井岳には治山事業が必要です。
- ⑧ これからも進めていただきたい。

### 問15【その他意見(公共事業全般)】

治山事業に限らず、林道の整備など公共事業全般についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

#### 【意見】(原文)

- ① 災害を防止するために、常々危険箇所を巡回し、治山・林道の整備に努めてもらいたい。
- ② 崖の崩れている箇所に、土入りのバック袋を置いて対策していますが、破れている袋が多く見えます。
- ③ リンゴの作業に従事するようになってから、畑がやまの方に近いため山道が分かるようになり、又、興味も出来ました。この道を行くとどこに出るのだろうと思ったり、高い場所の上での景観に感動します。矢吹沢地区はあまり知りませんが、もしかすると県道を通っているかと思ったりもしました。今回のご案内で初めて知りましたが、写真を見て大変良くやって下さったと思います。駒木の方によく行きますが、何時、崖が崩れてくるかと不安になる時があります。(野瀬の方にも行った事がありますが、少し冷や冷やしたりもしました。)皆様の御苦勞に感謝申し上げ、これからも頑張ってくださいよう、よろしく願い申し上げます。
- ④ 大雨の影響で通行するのに車に傷がつくなどしたが、工事終了と共に気にすることがなくなったので助かっている。(工事終了のせいかなと思っていますし、その後の大雨がなかったせいかもしれない。)
- ⑤ 近年、災害が多いので心配している。また、災害場所を見たが、自然の力にとっても驚き恐怖を感じた。
- ⑥ 自分の身は自分で守る。
- ⑦ 災害が起きる前に進めてほしい。
- ⑧ ありがとうございます。



(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

(1/3)

整理番号 R2 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

平成23年9月21日から22日にかけての台風15号に伴う大雨による洪水(馬淵橋付近)



## 被災状況



## 治山ダム計画(支流)








# 事後評価箇所状況写真

整理番号 R2 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

	完成時		現在
1号 谷止工		➡	
2号 谷止工		➡	
3号 谷止工		➡	
4号 谷止工 A工区 山腹工		➡	
5号 谷止工		➡	








(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

(3/3)

整理番号 R2 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

	完成時		現在
6号 谷止工		➡	
7号 谷止工 護岸工		➡	
B工区 山腹工		➡	
			

## 費用対効果分析説明資料

整理番号 R2 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	矢吹沢(三戸町)
-----	--------	------	----------

**【費用対効果の算定内容】**

1. 費用対効果の算定根拠

本地区の費用対効果は、『林野公共事業における事業評価マニュアル』『林野公共事業における事業評価の手法について』(13林整計第541号平成14年3月26日林野庁森林整備部計画課長通知[最終改正]2林整計第163号令和2年6月5日)による。  
 本手引きは、治山事業等(総費用C)によってもたらされる、各種期待される効果(本事業を実施した場合と実施しなかった場合の便益と費用の差)を便益(B)として評価するものである。

2. 算定の前提条件

- (1) 評価基準年度: 令和2年度
- (2) 評価期間: 54年(事業整備期間: 4年、耐用年数50年)
- (3) 費用及び便益の現在価値: 投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

**【前回評価時からの増減内容】**

区分	主な項目	前回評価時 (H25年)	事後評価時 (R2年)	増減額	増減理由
費用項目 (C)	算定基準年	H25年	R2年		
	(1) 当該事業費	170 百万円	192 百万円	22 百万円	現在価値化のための社会的割引率及びデフレータの反映
	(2)	百万円	百万円	百万円	
	(3)	百万円	百万円	百万円	
	(4)	百万円	百万円	百万円	
	(5)	百万円	百万円	百万円	
	総費用(C)	百万円	百万円	百万円	
便益項目 (B)	算定基準年	H25年	R2年		
	(1) 土砂流出防止便益	1,513 百万円	1,940 百万円	427 百万円	単価等の見直し及び社会的割引率の基準年を反映したことによる増加
	(2)	百万円	百万円	百万円	
	(3)	百万円	百万円	百万円	
	(4)	百万円	百万円	百万円	
	(5)	百万円	百万円	百万円	
	総便益(B)	百万円	百万円	百万円	
費用便益比(B/C)		8.90	10.10		

**【費用対効果分析の結果】**

$$B(\text{総便益}) / C(\text{総費用}) = 1,940(\text{百万円}) / 192(\text{百万円}) = 10.10$$